

2021年7月20日
日本銀行長崎支店



Bank of Japan Nagasaki Branch

長崎県の金融経済概況

(2021年7月公表分)

【概況】

長崎県の景気は、緩やかに持ち直しているが、感染症の影響から引き続き足踏み感がみられている。

最終需要面をみると、個人消費は、サービス消費への下押し圧力が強い状態が続いている。観光は、幾分改善しているが、依然として低い水準にある。住宅投資は下げ止まっている。公共投資は高水準で推移している。設備投資は、大型案件が寄与して増加している。

生産は持ち直している。雇用・所得環境は弱い動きとなっている。消費者物価指数は前年を下回った。

【本件に関する問い合わせ先】

日本銀行長崎支店総務課
850-8645 長崎市炉粕町32番地
TEL : 095-820-6110 FAX : 095-820-0299
本資料は当店ホームページ (<http://www3.boj.or.jp/nagasaki/>) にも掲載しています。

1. 需要項目別動向

個人消費は、サービス消費への下押し圧力が強い状態が続いている。

5月の商業動態統計は、前年を上回った。6月の乗用車新車登録台数は、前年を下回った。

観光は、幾分改善しているが、依然として低い水準にある。

5月の主要ホテル・旅館宿泊者数、主要観光施設入場者数は、前年を上回った。

住宅投資は、下げ止まっている。

5月の新設住宅着工戸数は、前年を下回った。

公共投資は、高水準で推移している。

6月の公共工事請負金額は、前年を下回った。

設備投資は、大型案件が寄与して増加している。

5月の建築物着工床面積は、前年を下回った。2021年度の設備投資（2021年6月短観）は、前年度を上回る計画となっている。

2. 生産

生産は、持ち直している。

主要業種別にみると、電子部品・デバイスは高水準で推移している。機械・重電（原動機、大・中型モーター、冷熱機器）は、減少が続いている。大手・中堅造船は、横ばい圏内で推移している。中小造船は、更新需要等を背景に高水準の受注残となっており、高操業が続いている。

3. 雇用・所得

雇用・所得環境は、弱い動きとなっている。

5月の有効求人倍率は、1.04倍となった。4月の雇用者所得は、前年を上回った。

4. 物価

5月の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、長崎市）は、前年を下回った。

5. 金融

5月の総預金および貸出金は、いずれも前年を上回った。

6. 企業倒産

6月の県内企業倒産（負債総額10百万円以上）は、件数、負債総額ともに前年を上回った。

〈 景気判断の比較 〉

	前回 (2021年6月公表分)	今回 (2021年7月公表分)
景気全体	緩やかに持ち直しているが、感染再拡大の影響から足踏み感がみられている。	緩やかに持ち直しているが、感染症の影響から引き続き足踏み感がみられている。
個人消費	サービス消費を中心に下押し圧力が強まっている。	サービス消費への下押し圧力が強い状態が続いている。
観光 (引き上げ) (3か月ぶり)	落ち込んだ状態となっている。	<u>幾分改善している</u> が、依然として低い水準にある。
住宅投資 (引き上げ) (3年6か月ぶり)	弱い動きとなっている。	<u>下げ止まっている。</u>
公共投資	高水準で推移している。	高水準で推移している。
設備投資 (引き上げ) (2年9か月ぶり)	大型案件の一巡から一服感がみられるものの、引き続き堅調に推移している。	<u>大型案件が寄与して増加している。</u>
生産	持ち直している。	持ち直している。
雇用・所得	弱い動きとなっている。	弱い動きとなっている。

(注) 下線は変更箇所。